

## ●津久井総合事務所周辺公共施設再整備事業について

津久井総合事務所は、建設からまもなく60年を経過し、老朽化による建て替えの検討時期を迎えています。

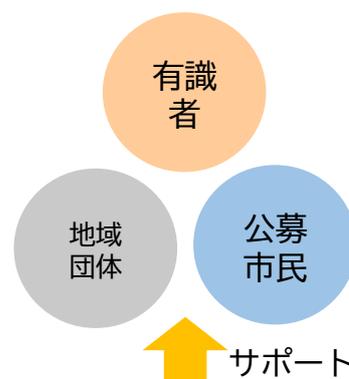
本事業は、津久井総合事務所の建て替えをきっかけに、周辺の公共施設を含めた再編・再整備を行うことで、津久井地区における地域拠点を創出し、持続可能なまちづくりを目指すものです。

令和3年度は、全4回の市民対話ワークショップやまちかどパネル展を開催し、基本方針の策定に向け、市民の皆さんと目指すべきビジョンを共有しました。

## ●基本構想の策定に向け、市民検討会を立ち上げました！

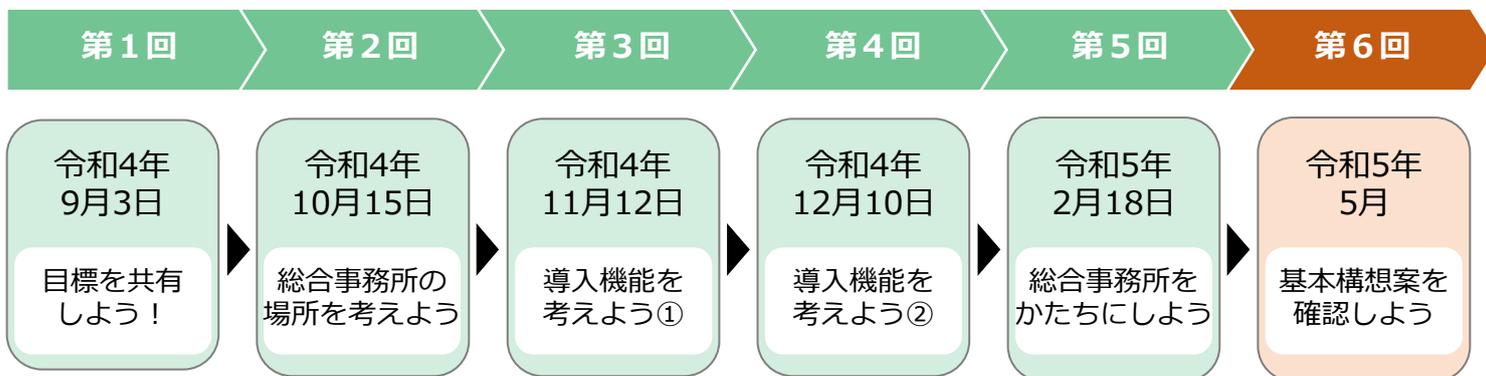
令和4年8月に策定した基本方針に基づき、総合事務所を中心とした新たな公共施設の具体的な設置場所や導入機能等を定める「津久井総合事務所周辺公共施設再整備基本構想」の策定に向けた取組を進めます。

検討に当たっては、有識者、地域団体推薦者、公募市民等で構成する市民検討会を設置し、みんなでより良い施設づくりを目指します。



芝浦工業大学の学生・市職員

## ●全6回のスケジュール



※新型コロナウイルス感染症の影響により変更となる場合があります。

## 石原緑区長からのあいさつ

公共施設の多くは、高度経済成長期の人口急増期に建設したものであり、築50年前後となり老朽化が進み、建替えの時期を迎えています。

これから人口が減少し、財政状況も考えるとそのまま建設し直すのではなく、集約化やどのような機能を持たせるかなどを考えていかなければなりません。

総合事務所と周辺の公共施設をどのように集約していくのか、必要な機能は何かを皆さまに話し合っただきながら進めていきたい。

これから整備する施設は地区のシンボルになると思うので、将来のまちづくりをイメージしながら皆さまと一緒に考えていきたいと思ひます。

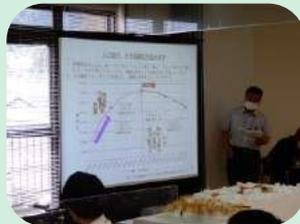


## ●第1回市民検討会を開催しました

1. あいさつ
  - ・主催者・参加者のあいさつ
2. 市からの説明
  - ・これまでの取組
  - ・市民検討会の目的等
3. 昨年度の成果発表
  - ・昨年度のワークショップ成果を参加者が発表
4. 大学生からの発表
  - ・津久井の歴史、卒業設計等
5. グループワーク
  - ・新しい施設をイメージしてみよう！
6. 発表・意見交換
  - ・グループワークの成果発表、意見交換
7. まとめ
  - ・有識者からの講評

### 市からの説明

今後人口が減少し2065年には現在の3/4まで減少、高齢化率は40%を超える予測をしています。公共施設の多くが老朽化し、一斉に改修・建て替え時期を迎えます。将来にわたり必要な公共サービスを提供していくため、施設のあり方等を見直す必要があります。



### 大学生からの発表

中野の歴史を近世、近代、現代の3つに分けて調査し地域の特色を分析しました。交通量調査や水路・道路調査も行い中野地区全体に対して【楽しく歩いて人々が集う中野】として8つの提案をまとめ、模型と併せて説明しました。

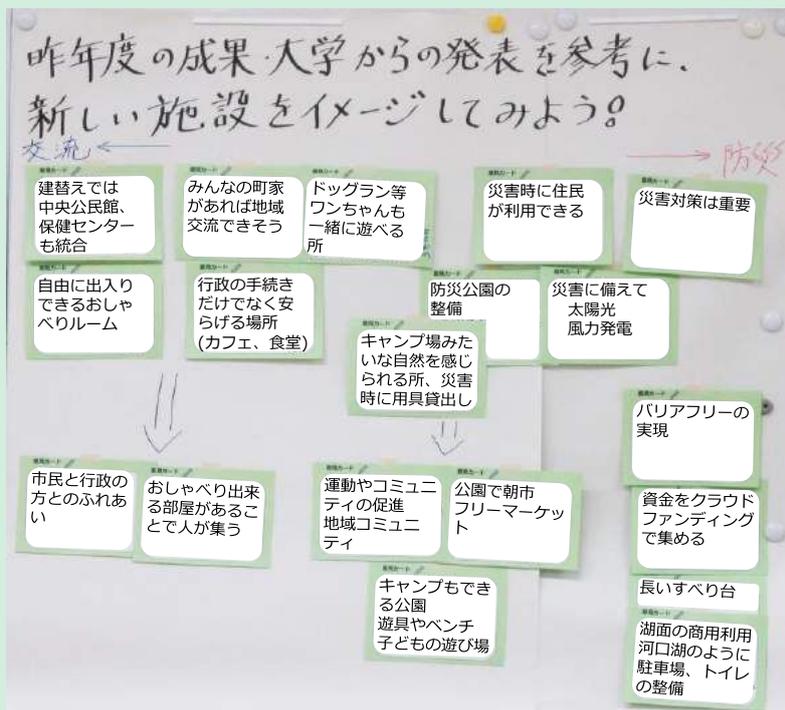


### グループワーク

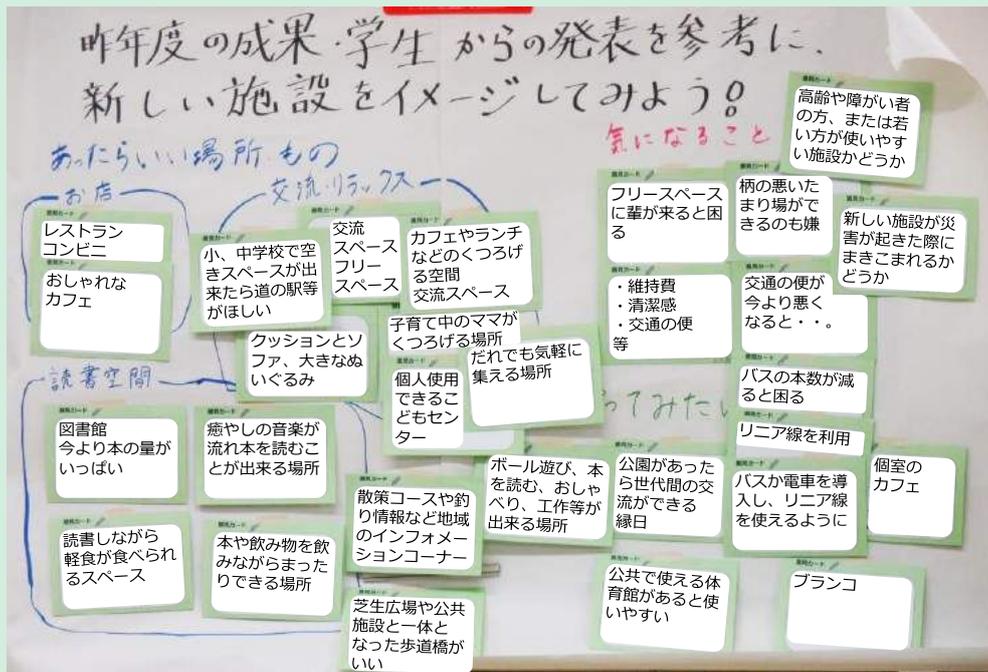
市からの説明や大学生からの発表を参考に、新しい施設のイメージを意見カードに記入し、どんな場所にしていきたいかの目標をグループ内で共有しました。ファシリテーターの進行の下、多世代での意見交換と発表を行いました。



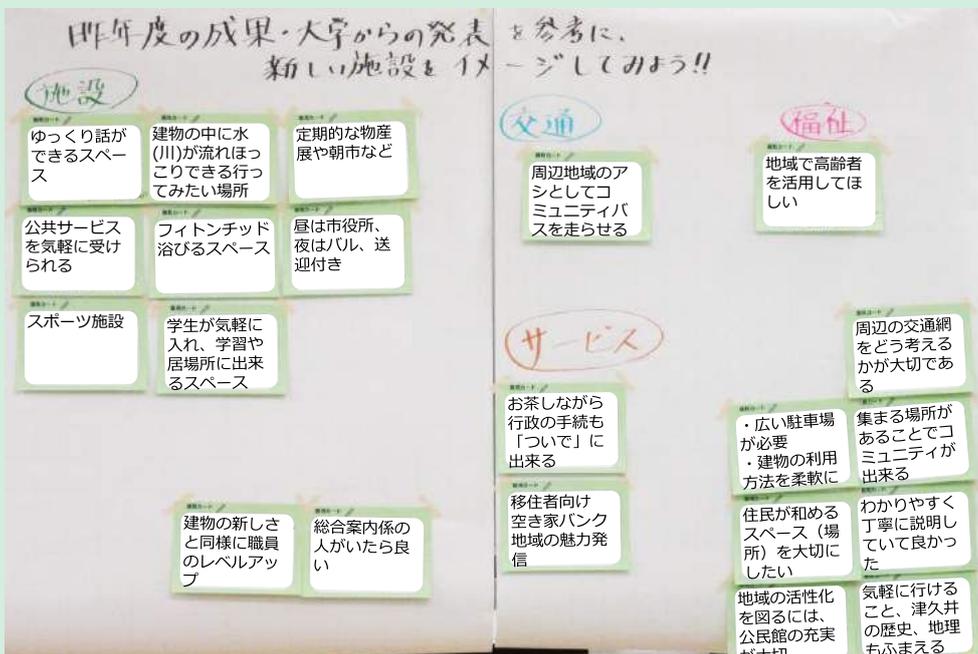
## Aグループ



## Bグループ



## Cグループ



## フォトギャラリー



## ●グループワークの成果発表・意見交換

グループ	みんなが描いた新しい施設及び周辺のイメージ（一部抜粋）
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>旧津久井町の中心、建て替えにあたって<b>中央公民館、保健センター</b>も統合。</li> <li>自由に入出りできる<b>おしゃべりルーム</b>。</li> <li><b>みんなの町家</b>があったら地域交流できて若い人とかが集まりそう。</li> <li><b>ドッグラン</b>等ワンちゃんも一緒に遊べる場所があったらいいと思う。</li> <li>行政の手続きだけでなく<b>市民が安らげる</b>場所。</li> <li><b>市民と行政</b>の方との<b>ふれあい</b>も増え、あたたかな交流が出来る。</li> <li>おしゃべり出来る部屋があることによって人が集う、<b>コミュニティーの場</b>になる。</li> <li><b>災害時</b>に住民が利用出来る。平時は公園、災害時は緊急避難できるような防災公園。</li> <li>長いすべり台とか長く遊べる遊具があれば遊びに困らない。</li> </ul>
B	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>レストラン、コンビニ、おしゃれなカフェ</b>、肌触りが良い50cmぐらいの大きさのぬいぐるみ。</li> <li><b>老若男女関係なく楽しめる交流スペース</b>がほしい。</li> <li><b>子育て中のママ達</b>がくつろげる場所。</li> <li>ふらっと来てボールで遊んだり、本を読んだり、友だちとおしゃべりしたり、他にも<b>工作や料理、音楽</b>などいろいろなことができるみんなの居場所。</li> <li><b>散策コース</b>や<b>釣り情報</b>など地域インフォメーションコーナーの充実。</li> <li>個人使用できる<b>子どもセンター</b>（町田のぱお）みたいな施設。</li> <li>ブランコ。</li> <li>読書をしながら軽食が食べられるスペース。</li> </ul>
C	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人、集団にかかわらず、ゆっくり話ができたり語り合うスペースのあるコーナー。</li> <li><b>建物の中に水（川）</b>が流れて周囲の人がほっこりできる、行ってみたい場所になるといい。</li> <li><b>駐車場</b>も大きく確保できる広場（スペース）を作り、定期的に<b>物産店</b>や、<b>朝市</b>など集まる場があれば良い。</li> <li>公共サービスを気軽に受けられる。（<b>コンシェルジュ・タッチパネル・在宅相談</b>できる等）</li> <li>津久井の良さを活かした建物。</li> <li>自由度の高いスペース（多用途・可変的）、誰でも入れる<b>コミュニティースペース</b>。</li> <li>学生が<b>気軽に</b>入れ、学習や、居場所に出来るスペース。</li> </ul>

## 第1回のまとめ（ファシリテーター・有識者コメント）

### ●志村先生



芝浦工業大学教授

- 世代を越えて目標を語り合うことが出来て良かったと思います。
- 津久井と中野地区は課題もありますが、歴史や文化、地形も含め興味深い地域であると感じています。地区の良さが発揮できる公共施設になると良いと思っています。
- 都心開発、地域の空洞化、高齢化等で各地区の個性が無くなっている中で、この地区はすごく良いものがあります。それが生かされる公共施設ができると良いと思います。
- 公共施設は市が作って終わりではなく、公共性が形成されていく場所であり、市民が何かやろうとしないと公共性は生まれません。公共性が育まれるような施設ができることを期待します。

### ●朝日先生



東京都立大学教授

- 公共施設をどうしていくかを考える時に何を望むかが根源的なエネルギーだと思います。色々な制約がある中で、民間の知恵ある方とやっぴいこう、デジタルもやっぴみよう、もしダメならどんどん変えていこうなど知恵を出しながらではありますが、基本的に何がやりたいか、やっぴみたいかがパワーとして大事となります。
- 社会資本の面からの意見として、人的資本と自然資本との関係が大事なのですが、両方の面から意見がたくさん出ていたため、私も勉強になりました。